



柘植の人権文化
各区の人権地区懇を
核に深めていきましよう



中学生の部
柘植中学校3年
山内 彩愛さん



小学生の部
柘植小学校6年
谷口 結奏さん

柘植地域の小学校・中学校の児童生徒のみなさんが紹介されました。

柘植地域 まちづくりだより 第226号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 千五九一四〇二一
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

二〇一八(平成三十)年十二月十五日(土)

柘植地域俳句コーナー

立冬の

雨細やかに

降りはじめ

松尾紀子

夜、12月7日(金)に、大ホールで、いがまちの集いが開催されました。



開会行事では、岡本市長をはじめ来賓の方々のあいさつ、いがまち管内の入賞者の紹介などの後で、「母娘(おやこ)で問うた部落差別」と題して、坂田さん母娘が講演をしていただきました。

伊賀市全体の人権作品については、『人権作品集2018』(A4・32頁)をご覧ください。

ご入り用の方は、伊賀支所にお申し出ください。



旧山田村山田地域との 交流・学び合い



12月1日(土)午前、山田地域住民自治協議会のみなさん24名がお越しになり、当地域の実状と課題をふまえ意見交換を行いました。

お昼は、いこいで屋食をとっていただき、午後は柘植地域の名所めぐりをしました。写真は柘植公民館「3億人展示室」の様です。



都美恵の里美化事業

女性活動部会



11月28日(水)午後、女性活動部会が中心になって、市民センター周辺の美化活動を行いました。この事業の



一部は、公益社団法人三重県緑化推進協会の支援を受けている事業です。上写真は、センター前のプランタの花を植え替えたところです。

下写真は、柘植駅前の花壇に夏場に植えていたものを、このたびの植え替えに伴ってセンター東側の会議室のブラインドとして植栽した様子です。



★★事務局だより★★

▼記事は、写真と文章をセットにするのを原則にしていますが、記事にするほどではないけどお伝えしたいこともあるあります。▼この秋から柘植地域内のサルの行動が目立っていることは何度かお知らせしてきたとおりです。成田山から徳永寺・柘植小学校・都美恵神社と連なる山地に10匹を越えるサルが生活しています。「伊賀C」と呼ばれるこのグループには凶暴なサルはいないので、どうやらこの一帯で寝起きしてチョコチョコと小学校や住宅地に出てきているのです。(写真はさるドコネットより転載・矢印の先がGPSを付けたサルの居場所)



▼12月3日の午後には、まち協役員と上町・下町の有志合計9名が、また8日午後にも4名がこの付近を受信機と煙火・パチンコを使って山狩りをしました。▼結果、一時的にはこの付近から移動しましたが、日の暮れにはこの付近に戻ってしまいました。▼今年の9月頃から、徐々に加太→ツツ家→柘植駅北東部→倉部薬師寺裏山→成田山→都美恵神社裏山と移動を許してしまっただのが、現在の定住につながってしまった原因です。▼「サルが安心して生活できる地域？」にしておくかどうか。それをよしとするかどうかは、私たち地域住民の気持ち次第だと思いま

す。「誰かがしてくれる」ではなく、「どんな地域にしたいのか」考えていただくことが大切です。▼ところで、1杯の記事にもあるように、山田地域のみなさんが研修として当地を訪れてくださいました。交流することで柘植の長所短所もわかります。柘植地域の中でも、区を越えた交流を進めれば各区の長所短所がわかると思います。もっと交流の機会を増やしていきたいものです。



▼ところで上野の猪田地区住民自治協議会から写真のような『猪田ふるさとカルタ』を頂戴しました。その製作の際に、『柘植のホントかるた』を参考にさせてほしいとのことと、お貸しした経緯があったため、「おかげで完成しました」とお礼を兼ねて会長様が届けてくださったのです。▼発行のことばに、「自分たちの住む猪田の歴史や文化を掘り起し、次世代に伝え残していきたいとの願いを含め、目で見られ(絵札)、遊びの中で学び覚え(読み札)、内容の詳細を知る(解説)ことができる『カルタ』という形に託し作られたものです。」と書かれています。▼地域のアイデンティティが喪失していく昨今、歴史や文化は、自分がその地域の一員なのだと感じることを感じさせてくれる重要な要素です。▼『柘植のホントかるた』には、各区別の内容がありますが、どれだけのことを私たちは知っているのでしょうか?1月23日朝には小学校でカルタ大会も開催されます。▼他所の取り組みや過去に学び、柘植をより魅力ある地域にしていきたいものです。▼今号2ページです。(西田方針)